CAMPANOLA

取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

CAN12

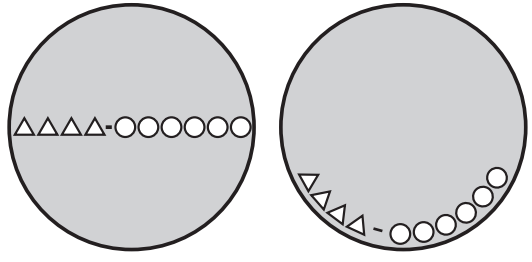
このたびは、カンパノラウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

シチズンホームページ（http://citizen.jp/）でも操作説明がご覧いただけます。
また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む４ケタと６ケタ以上からなる番号が刻印されています。
この番号を「側番号」といいます。
側番号の先頭の４ケタが機種番号になります。図では「△△△△」が機種番号です。

＜刻印の位置の例＞



時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために― 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、
必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **危険**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

＜保護シールについて＞

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

＜バンド調整について＞

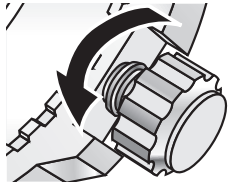
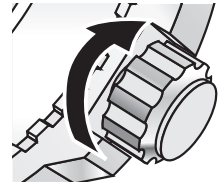
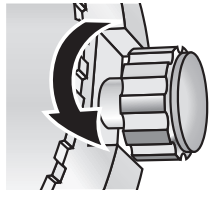
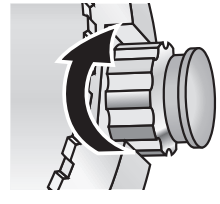
お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

特殊な構造のりゅうずについて

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

ねじロックりゅうず・ねじロックボタンの使い方

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	 りゅうずが飛び出すまで、左に回す	 りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロックボタン	 ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	 ねじを右に回し、しっかり締める

カスタマーカード（カード式保証書）をご請求ください

- お買い上げ時に添付されている「お客様登録カード」をシチズンテクニカルサービスセンターへお送りいただき、カンパノラカスタマーカード（カード式保証書）をご請求ください。
  「お客様登録カード」をもとに、お客様登録をさせていただくとともにカンパノラカスタマーカードをお客様宛てにお送りいたします。カンパノラカスタマーカードがお手元に届くまで、お客様登録カード（仮保証書）の控えは大切に保管しておいてください。

- カスタマーカードとお客様登録に関してご不明な点などがございましたら、下記シチズンテクニカルサービスセンターへご連絡ください。

シチズンテクニカルサービスセンター
〒395-0195　長野県飯田市下殿岡 435　　(0120) 28-1502

ご自分の時計の機種をご確認のうえ、
該当するページをご覧ください。

目 次

特殊な構造のりゅうずについて 4

A. グランドコンプリケーション

9ページへ

機種：677＊

1. 主な特長 10
2. 各部の名称 11
3. ご使用になる前に 14
4. 基準位置合わせ 16
5. 時刻の合わせ方 18
6. カレンダーの合わせ方 21
7. クロノグラフの使い方 24
8. このような場合には 29
9. 製品仕様 31

B. パーペチュアルカレンダー

33 ページへ

機種：670＊

1. 商品の特長 34
2. 各部の名称 35
   • 操作方法一覧 36
3. 表示の見方 37
4. ご使用になる前に（基準位置の確認）..... 39
5. 時刻の合わせ方 40
6. カレンダーの合わせ方 41
7. カレンダーの呼び出し方 42
8. このような場合には 44
9. 基準位置合わせ 46
10. 製品仕様 48

C. デュアルタイム

49 ページへ

機種：776＊

1. 商品の特長 50
2. 各部の名称 51
3. 時刻の合わせ方 52
4. ローカルタイム時差修正の仕方 54
5. 電池寿命切れ予告機能について 55
6. 製品仕様 56

お取り扱い

お取り扱いにあたって 57

サービス

保証とアフターサービスについて 66
お問い合わせ窓口 68

A. グランドコンプリケーション

GRAND COMPLICATION

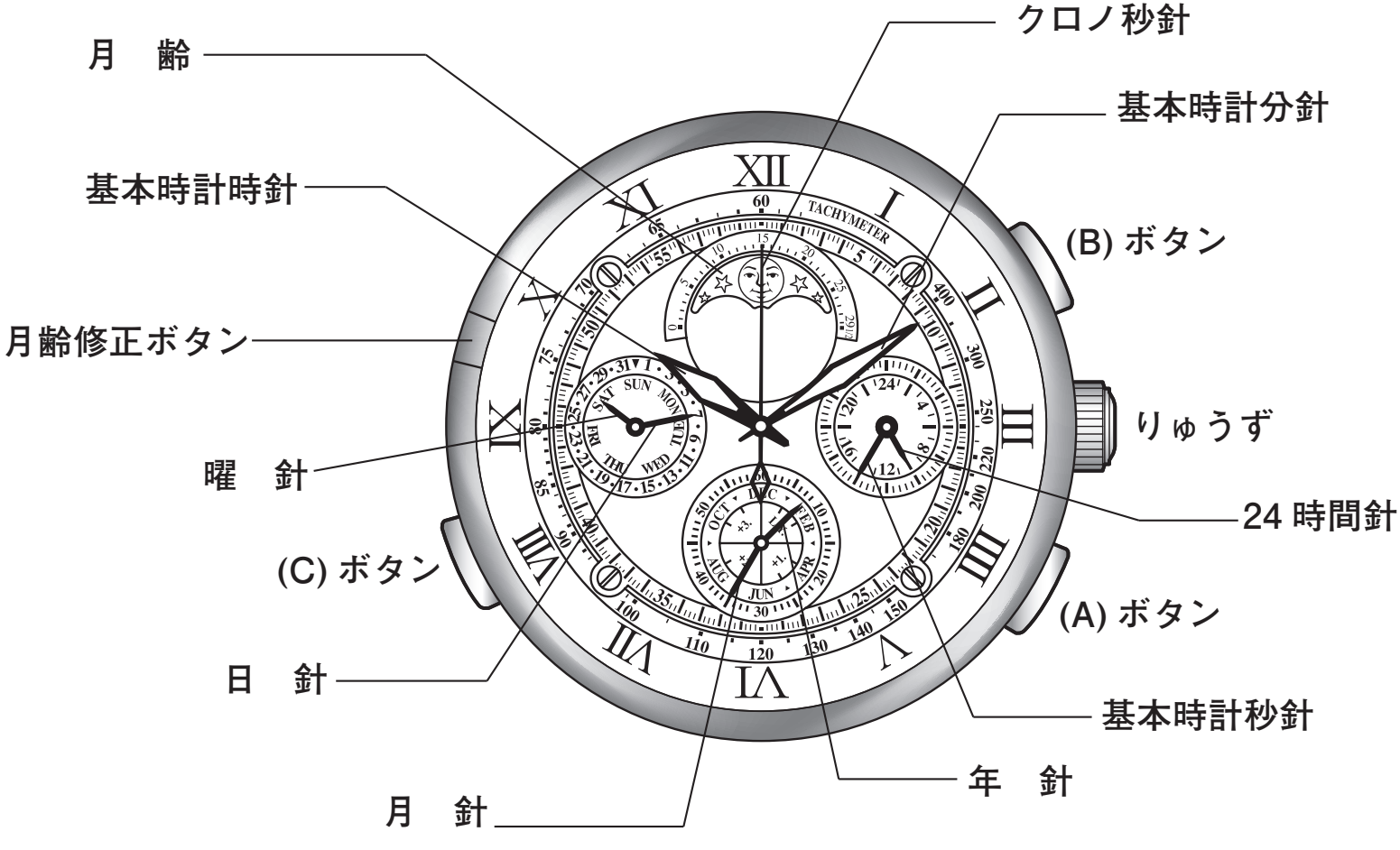
機種 No.677*

1．主な特長 10
2．各部の名称 11
3．ご使用になる前に 14
4．基準位置合わせ 16
5．時刻の合わせ方 18
6．カレンダーの合わせ方 21
7．クロノグラフの使い方 24
8．このような場合には 29
9．製品仕様 31

1. 主な特長

この時計は、電子音による「報時機能（引き打ち時計）」のほか、うるう年を含めたカレンダーを自動修正する「パーペチュアルカレンダー機能」、12 時間計測ができる「クロノグラフ機能」などを搭載した多針アナログクオーツウオッチです。

2. 各部の名称



＊お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは、異なる場合があります。

各針の役割

針＼表示	時刻／カレンダー	クロノグラフ
時針	常に時を表示	
分針	常に分を表示	
秒針	常に秒を表示	
24 時間針	常に 24 時間制を表示	
クロノ針	————	クロノ秒
日針	常に日を表示	
曜針	常に曜を表示	
月針	月、分（報時）	クロノ分
年針	年、時（報時）	クロノ時

各ボタンの役割

りゅうず位置表示	0段		1段	2段
	時刻／カレンダー	クロノグラフ	カレンダー合わせ	時刻合わせ
(A) ボタン	―――	0位置確認 スプリット リセット	年／月修正 ：正転	引き打ち時刻 合わせ：正転
(B) ボタン	報時	スタート／ ストップ	年／月修正 ：逆転	引き打ち時刻 合わせ：逆転
(C) ボタン	クロノグラフ 表示へ	時刻／カレンダーへ	日修正	―――
りゅうず	―――	―――	―――	時、 分、24時間曜日合わせ
月齢修正ボタン	月齢の修正（りゅうずの位置に関係なくいつでも修正できます）			

3．ご使用になる前に

この時計をご使用になる前に、各機能を正しく作動させるために、次の方法で各針の基準位置確認を行ってください。

基準位置とは：この時計が正しく機能するための、各針の初期位置のことです。

基準位置確認

1) りゅうずは通常位置にします。

・(C) ボタンを２秒以上押し、クロノグラフ表示に切り替え、各針が下記の位置を示すことを確認します。

クロノ秒針……００．００秒

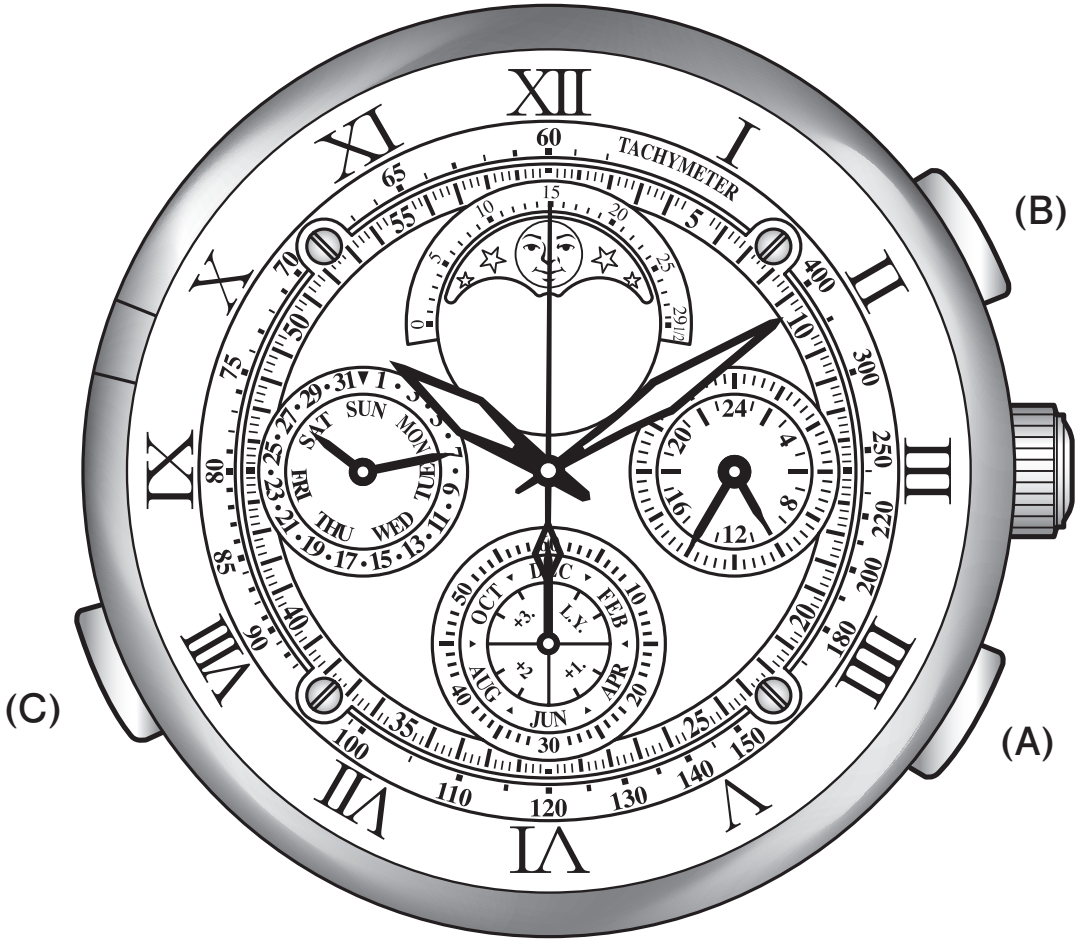
年、月針……００：００(12 時 00 分位置)

・(A) ボタンを２秒以上押し、日針が下記の位置を示すことを確認します。

日針……▼（31 と１の間）

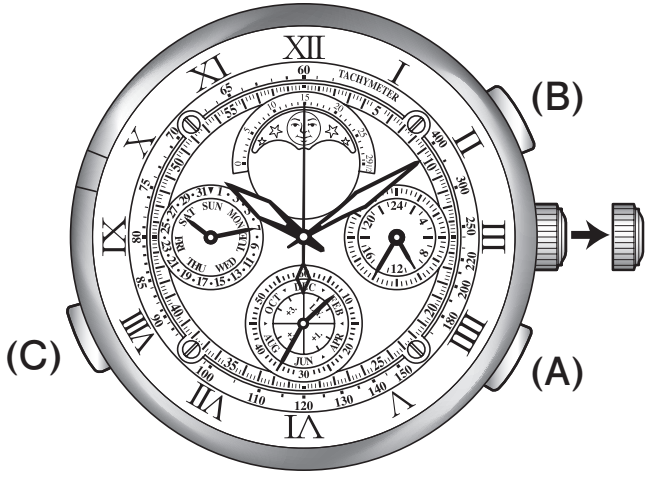
2) 基準位置確認ができたら、(C) ボタンを２秒以上押して時刻、カレンダー表示にもどします。

＊各針が基準位置にない場合は、次ページの「４．基準位置合わせ」に従って、各針の基準位置合わせを行ってください。


(B)
(C)
(A)
TACHYMETER
SUN
MON
TUE
WED
THU
FRI
SAT
L.Y.
JAN
FEB
APR
JUN
AUG
OCT
DEC

4．基準位置合わせ

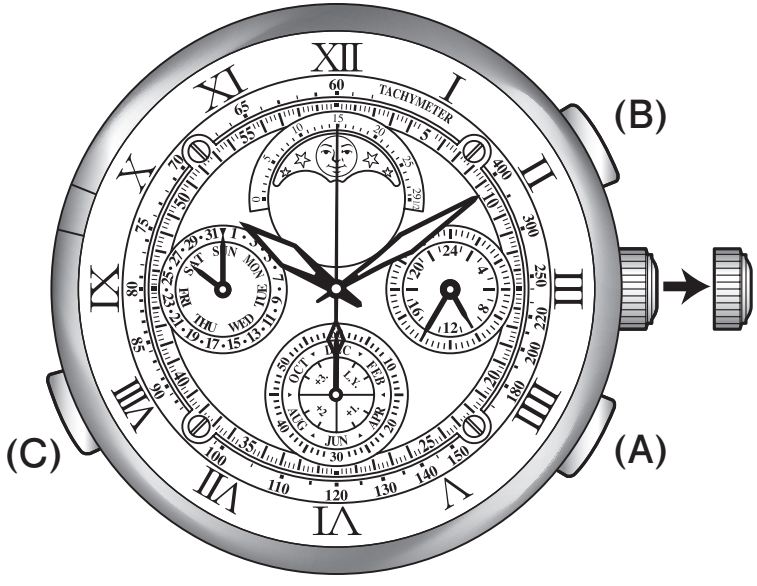
基準位置合わせが正しくされていないと、各針が正しい位置を示しません。基準位置がずれているときは、次の手順で位置合わせを行ってください。
＊電池交換を行った場合もこの基準位置合わせが必要です。



オールリセットをします

1) りゅうずを２段引き位置にします。
2) (A)、(B)、(C) の３つのボタンを同時に押します。
3) ボタンを離すと、クロノ秒針→日針→年 、月針の順に各針が作動します。作動終了後確認音が鳴ります。

**オールリセット後、基準位置合わせを行わずにりゅうずを0段または1段にもどすと「基準位置未完了警告」となり、“日針” が逆回転し基準位置がセットさせてないことを示します。
再度りゅうずを2段引き位置にし、「基準位置合わせ」を行ってください。**



基準位置合わせをします

1) (A) ボタンを押して“年、月針”を００：００に合わせます。

2) (B) ボタンを押して“クロノ秒”を００、００秒に合わせます。

3) (C) ボタンを押して“日針”を▼位置に合わせます。

・(A)、(B)、(C) ボタンとも押し続けると、早送りします。

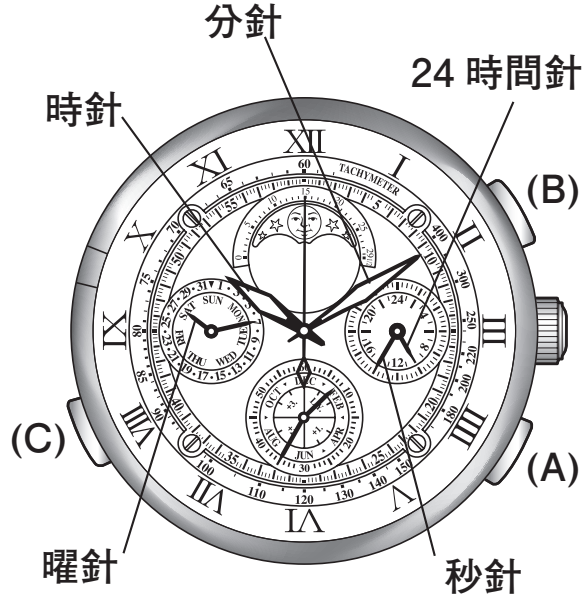
4) りゅうずを必ず通常位置にもどします。

＊基準位置合わせ後、必ず時刻（基本時計と引き打ち時計）とカレンダーを合わせ直してください。

5. 時刻の合わせ方

基本時計の時刻および曜日合わせ

基本時計の時刻合わせを行ったら、必ず引き打ち時計の時刻を基本時計の時刻に合わせてください。
基本時計と引き打ち時計の時刻が合っていないと、基本時計（現在時間）と一致した時刻を報時しません。



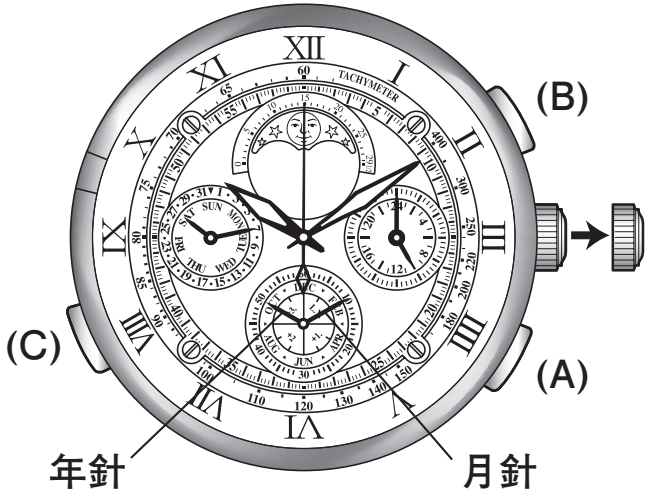
1) 秒針が0秒で停止するように、りゅうずを2段引きします。

2) りゅうずを正回転（時、分針を時計方向に回転）させて曜日を合わせます。
・PM9:00 ～ AM1：00 の往復運針をさせると、曜日の早修正ができます。

3) りゅうずを左右いずれかに回転させて、時、分、24 時間針を現在時刻に合わせます。
・24 時間針を目安に午前、午後に注意して時刻を合わせてください。

4) りゅうずを通常位置にもどします。

引き打ち時計の時刻合わせ



1) 基本時計の秒針が0秒で停止するように、りゅうずを2段引きします。

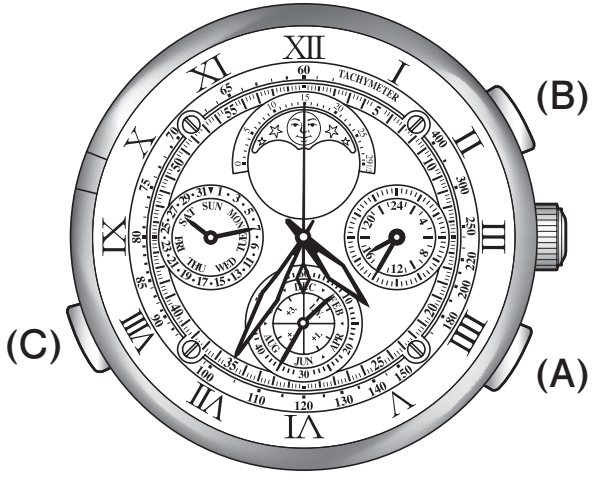
2) (A) または (B) ボタンを押して年、月針を基本時計の時刻に合わせます。
- (A) ボタン：1回押す毎に1分進みます。
- (B) ボタン：1回押す毎に1分逆進します。
(A)、(B) ボタンとも押し続けると早送りします。

3) 時報などに合わせて、りゅうずを1段または0段位置に押し込めば、基本時計と引き打ち時計が0秒から動きだします。

4) りゅうずを押し込むと、引き打ち時刻表示は年、月表示にもどります。
基本時計の時刻を基準に、引き打ち時計をほかの都市の時刻に合わせると、ローカルタイムとして使用でき、(B) ボタンを押してローカルタイムの時報を知ることができます。

引き打ち時計の使い方

・時刻（時、分）を電子音で知らせる便利な機能です。



時刻、カレンダー表示で (B) ボタンを押すと、現在時刻を電子音で知らせます。
・りゅうずは通常位置です。

〈時刻報知の方法〉

時の鳴り方：1 ～ 12 時まで時の数だけ「高い音」が1秒毎に鳴ります（午前 / 午後の区別はありません）。

分の鳴り方：15 分単位で「高い音 + 低い音」が鳴り、端数は「低い音」が端数分鳴ります。

例　現在時刻が 4 時 34 分の場合

4 時：「高い音」が 1 秒毎に 4 回鳴ります。
30 分：時報の 1 秒後「高い音 + 低い音」が 1 秒毎に 2 回鳴ります。
4 分：30 分報時の 1 秒後「低い音」が 1 秒毎に 4 回鳴ります。

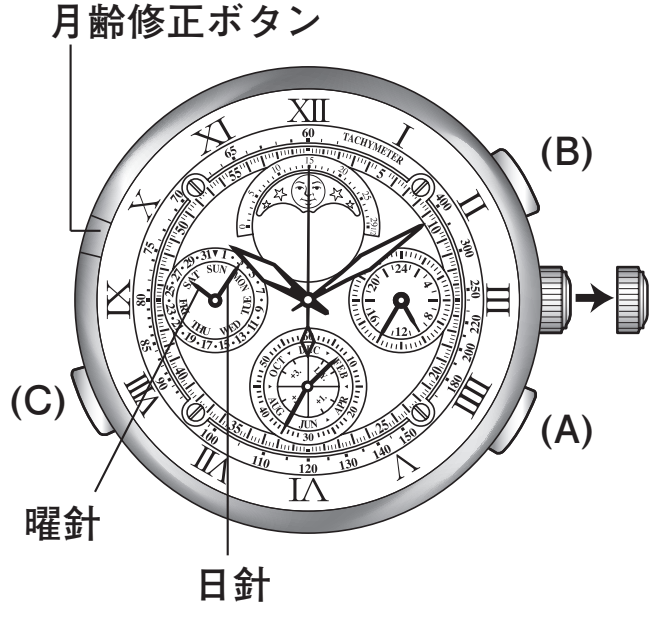
6. カレンダーの合わせ方

日、月、年（うるう年）合わせ

1) りゅうずを1段引きします。

2) (A) または、(B) ボタンを押して月、年（うるう年または、うるう年からの経過年）を合わせます。

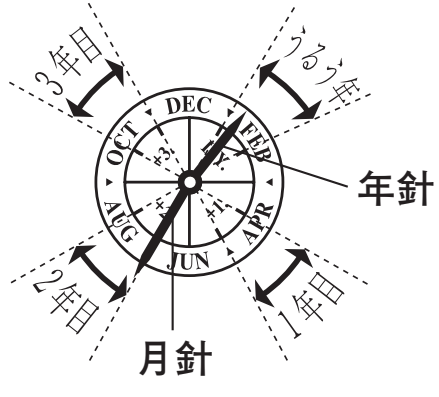
- (A) ボタン：1回押す毎に1カ月分進みます。
- (B) ボタン：1回押す毎に1カ月分逆進します。



うるう年経過年早見表

年	経過	年	経過
2014 年	２年目	2018 年	２年目
2015	３年目	2019	３年目
2016	うるう年	2020	うるう年
2017	１年目	2021	１年目

〈うるう年経過年表示の見方〉



3) (C) ボタンを押して日を合わせます。
・(C) ボタンを1回押す毎に1日分進みます。
(A)、(B)、(C) ボタン共、押し続けると早送りします。
4) りゅうずを通常位置にもどします。

曜日は、基本時計（24 時間、時、分針）と連動していますので、時刻合わせの際に一緒に合わせてください。

月齢合わせ

りゅうずの位置に関係なく修正できます。
月齢修正ボタンを押して、月齢を合わせます。
・新聞などから当日の月齢を読み取り、下記の「月齢の見方」を参考に月マークを合わせてください。

月齢の見方

この月齢表示は、月齢を表示したもので、月の形そのものを表示したものではありません。
月齢の目安としてご利用ください。

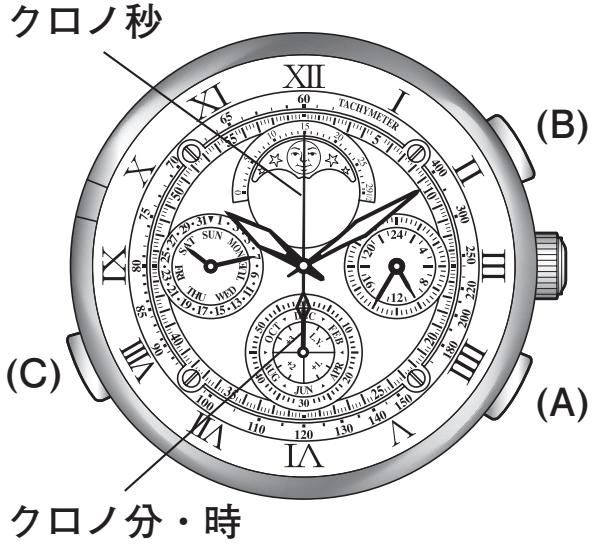
朔 (New moon) 月齢　0 (大潮)	上弦 月齢　約7 (小潮)	満月 (Full moon) 月齢　約15 (大潮)	下弦 月齢　約22 (小潮)

〈月齢をより正確に合わせるには〉
朔／ New moon（月マークがまったく見えない状態 ･･･ 月齢　0）または、満月／ Full moon（月が真上（12 時方向）にある状態 ･･･ 月齢 15）のときに合わせると、より正確に合わせることができます。

7. クロノグラフの使い方

クロノ秒針は通常は12時位置で停止しており、クロノグラフ計測時には1／4秒単位で最大12時間計測できます。12 時間経過後はクロノグラフリセット表示にもどり停止します。また、スプリットタイム（途中経過時間）計測もできます。

クロノグラフリセット



クロノグラフの切り替え

(C) ボタンを2秒以上押して、カレンダー表示からクロノグラフ表示に切り替えます。

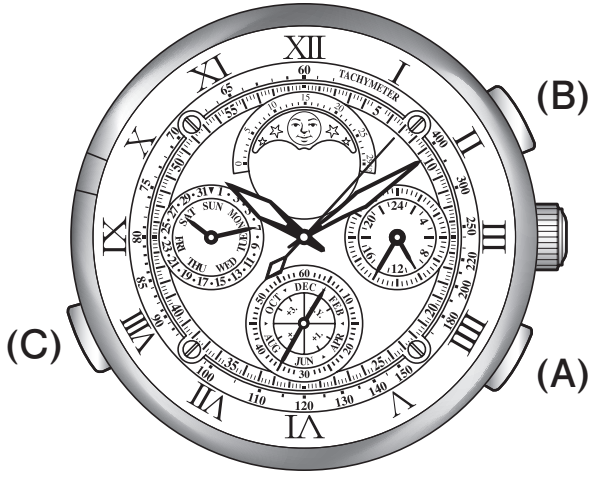
・このとき、月針と年針が 00：00 位置（12 時位置）に移動し停止します。

〈表示の見方〉

クロノ秒：クロノ秒針で“秒”を読み取ります。
クロノ分：月針で“分”を読み取ります。
クロノ時：年針で“時”を読み取ります。

クロノグラフ計測中にカレンダー表示に切り替えると、計測はキャンセルされます。

単純計測の仕方



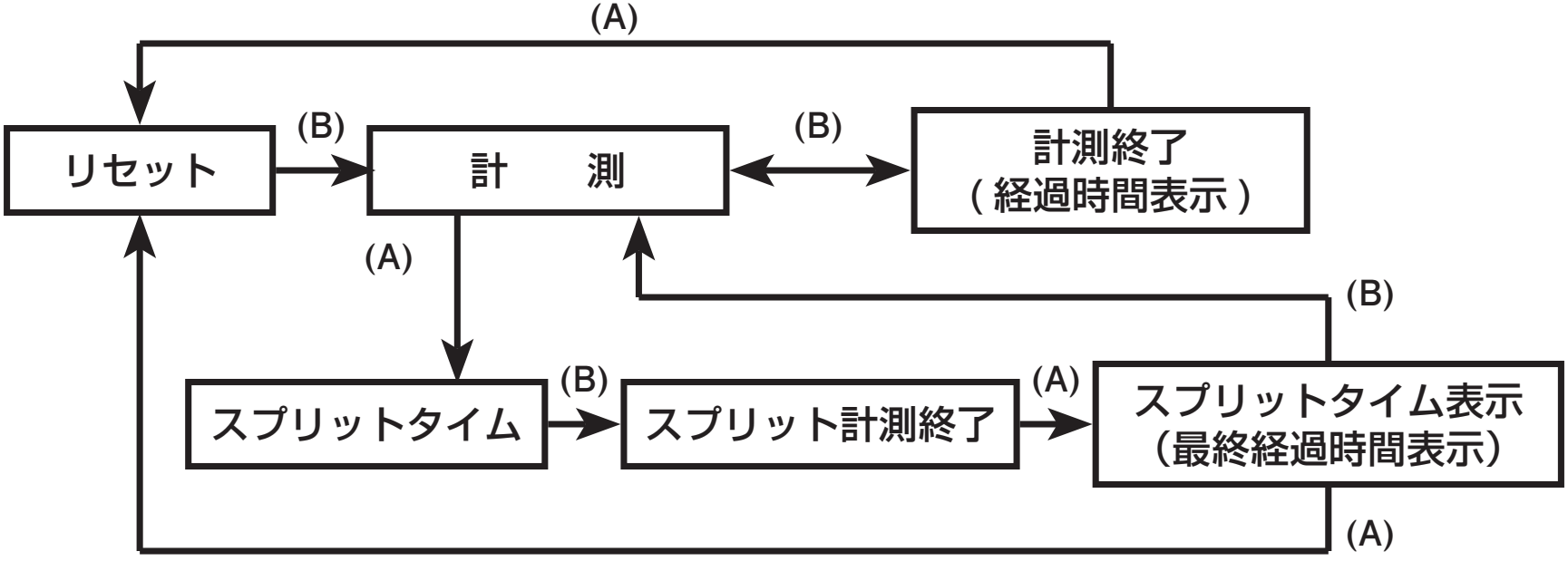
1) (B) ボタンを押して計測を開始します。
2) さらに (B) ボタンを押すと計測終了し、経過時間が表示されます。
3) (A) ボタンを押すと、リセットされクロノ各針が0にもどります。

積算計測の仕方

1) (B) ボタンを押して計測を開始します。
2) (B) ボタンを押すと計測終了し、経過時間が表示されます。
3) さらに (B) ボタンを押すと計測が再開され、積算されていきます。
・(B) ボタンを押す毎に、計測開始、終了を繰り返します。
4) (B) ボタンを押して計測終了後、(A) ボタンを押すとリセットされ、クロノ各針が0にもどります。

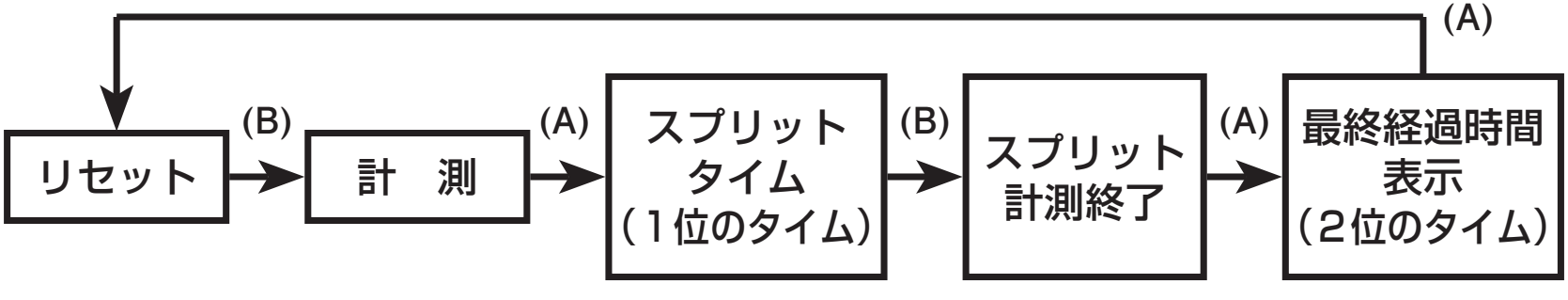
スプリット（途中経過時間）計測の仕方

1) (B) ボタンを押して計測を開始します。
2) (A) ボタンを押すと、クロノ各針が停止しスプリットタイムを表示します。
・針は停止していますが、計測は継続しています。
3) 再度 (A) ボタンを押すとスプリットタイムは解除され、スプリットタイム表示時の経過時間が加算されて計測されます（クロノ各針が運針を開始します）。
・スプリットタイムを繰り返し行う場合は、(2)、(3) を繰り返してください。
4) スプリットタイム表示中に、(B) ボタンを押すとスプリット計測を終了します。
5) 次に (A) ボタンを押すと、スプリットタイム表示時の経過時間が加算されて表示されます。
6) さらに (A) ボタンを押すとリセットされ、クロノ各針が0にもどります。


(A)
リセット
(B)
計　　測
(B)
計測終了
(経過時間表示)
(A)
(B)
スプリットタイム
(B)
スプリット計測終了
(A)
スプリットタイム表示
（最終経過時間表示）
(A)

1 位、2 位のタイムを同時に計時する方法

1) (B) ボタンを押して計測を開始します。
2) 1 位のゴールと同時に (A) ボタンを押すと、1 位のタイムが表示されます。
・この状態では 1 位のタイムを表示したまま、2 位の計測を継続しています。
3) 2 位のゴールと同時に (B) ボタンを押すと、計測がストップします。
・この状態では 1 位のタイムを継続して表示しています。
4) さらに (A) ボタンを押すと、2 位のタイムを表示します。
5) 再度 (A) ボタンを押すとリセットされ、クロノ各針が 0 にもどります。



8. このような場合には

日針が逆回転（1秒運針）しているとき

・基準位置合わせができていないため、「基準位置未完了警告機能」が働いています。「4. 基準位置合わせ」を参照して“オールリセット”および“基準位置合わせ”を行ってください。

各モードで針が正しい位置を示さない

・時計に強い衝撃等が加えられると針の基準位置がずれる場合があります。「4. 基準位置合わせ」を参照して“オールリセット”および“基準位置合わせ”を行ってください。

時計が異常な表示や動作をした場合

・静電気の影響や強い衝撃などにより、ごくまれに異常な表示や動作（針が回りっぱなしなど）をすることがあります。このような場合は、「4. 基準位置合わせ」を参照して“オールリセット”および“基準位置合わせ”を行ってください。

電池交換をした後は

・電池交換をした後も、必ず「4. 基準位置合わせ」を参照して“オールリセット”および“基準位置合わせ”を行ってください。
この操作を行わないと、時計が正しく動かない場合があります。

9. 製品仕様

- **キャリバー No：**677 ＊
- **型式：**多針アナログクオーツウオッチ
- **時間精度：**平均月差　± 20 秒　常温（＋5℃～＋ 35℃）携帯時
- **作動温度範囲：**－ 10℃～＋ 60℃
- **表示機能：**
  - 時刻：時、分、秒、24 時間
  - カレンダー：年、月、日、曜日、月齢
  - クロノグラフ：12時間計、1/4 秒単位、スプリットタイム計測機能
- **付加機能：**
  - カレンダー；パーペチュアルカレンダー機能
  - 月齢；絵車表示機能
  - 報時機能（引き打ち時計）
  - 基準位置未完了警告機能
  - 秒針任意停止機能

・**使用電池**：280 － 44（SR927W）
・**電池寿命**：約2年
使用条件の目安は次の通りです。
・報時：17 秒間／日
・クロノグラフ計測：1時間／日

＊製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

B. パーペチュアルカレンダー

1. 商品の特長..... 34
2. 各部の名称..... 35
   • 操作方法一覧 36
3. 表示の見方..... 37
4. ご使用になる前に（基準位置の確認）.. 39
5. 時刻の合わせ方 40
6. カレンダーの合わせ方 41
7. カレンダーの呼び出し方 42
8. このような場合には..... 44
9. 基準位置合わせ 46
10. 製品仕様..... 48

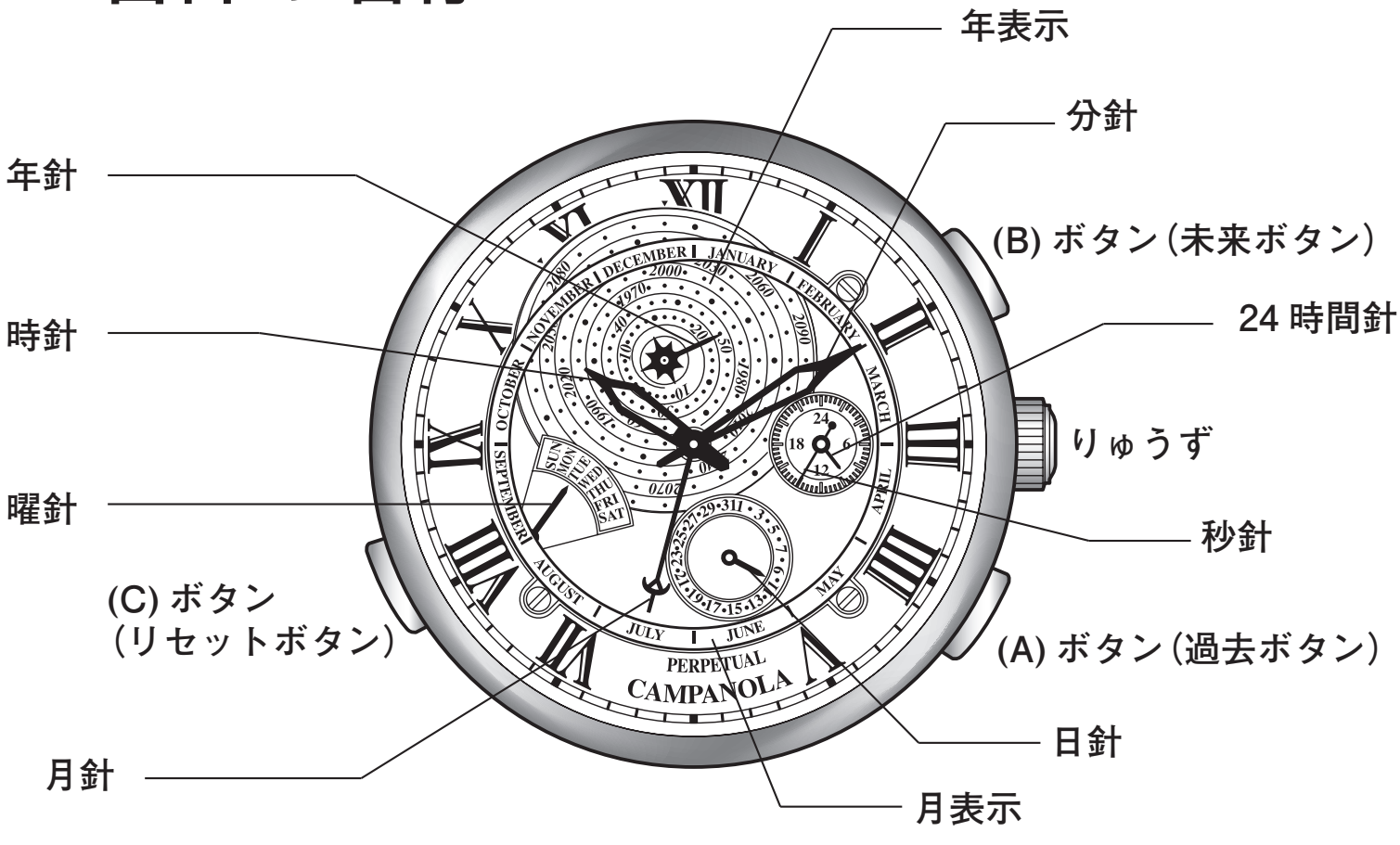
PERPETUAL CALENDAR

機種 No.670＊

1. 商品の特長

この時計は、時、分、秒、24 時間表示に加え、カレンダー（年、月、日、曜）を針で表示するアナログクオーツウオッチです。
カレンダーは、うるう年を含め、月末を自動修正するパーペチュアルカレンダーです。
また、ボタン操作によって、未来や過去のカレンダーを簡単に呼び出すことができます。

2. 各部の名称



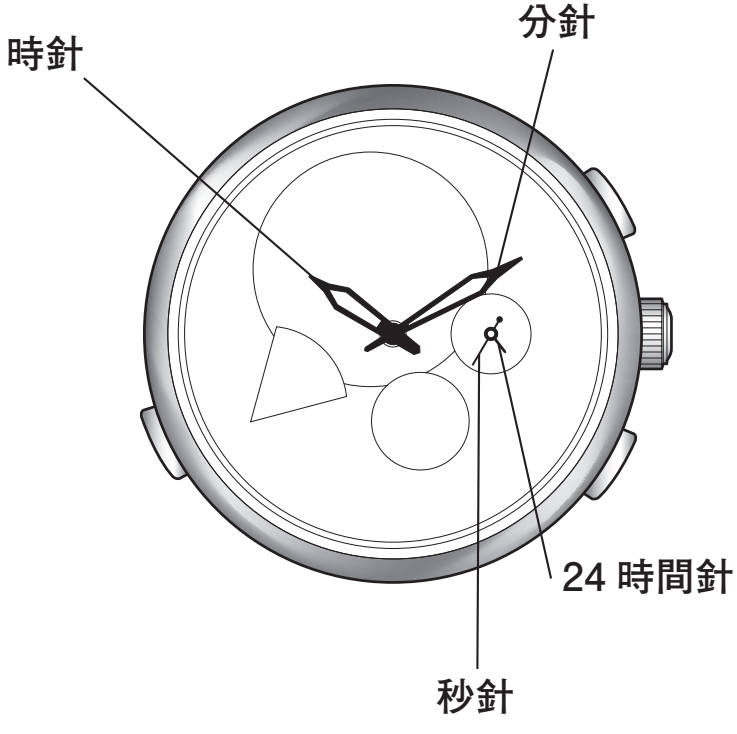
＊お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは、異なる場合があります。
＊通常のご使用では、常にりゅうずを通常位置にしてご使用ください。りゅうずを引いた状態では、通常よりも電池寿命が短くなってしまいます。ご使用にならないときも、りゅうずは通常位置にしておいてください。

操作方法一覧

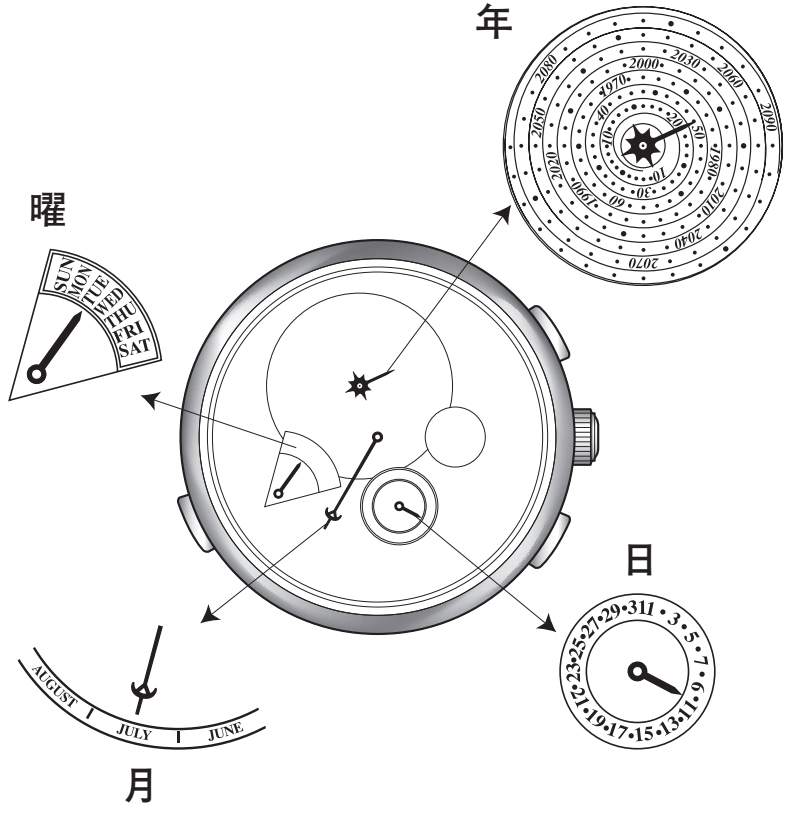
りゅうず / 操作	通常位置	一段引き	二段引き
(A) ボタンを押す	過去のカレンダーを呼び出します（逆転）	月、日を修正します	——
(B) ボタンを押す	未来のカレンダーを呼び出します（正転）	年を修正します	——
(C) ボタンを押す	現在のカレンダー表示にもどります	——	——
りゅうずを回す	——	——	時刻を修正します

3. 表示の見方

時刻の見方



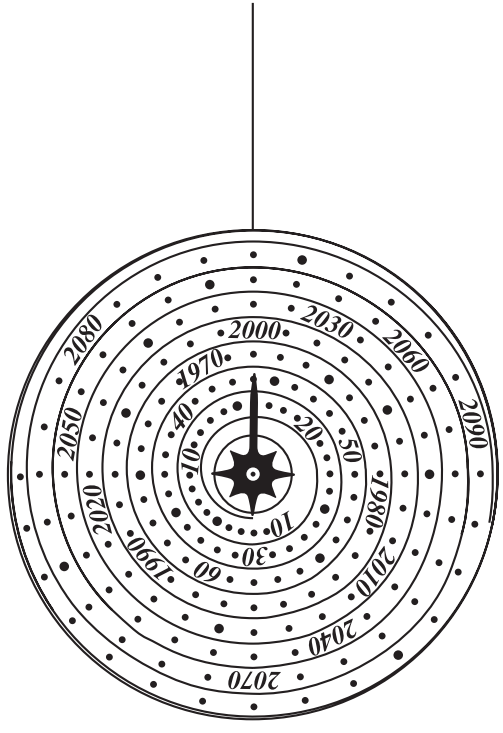
カレンダーの見方



年表示について

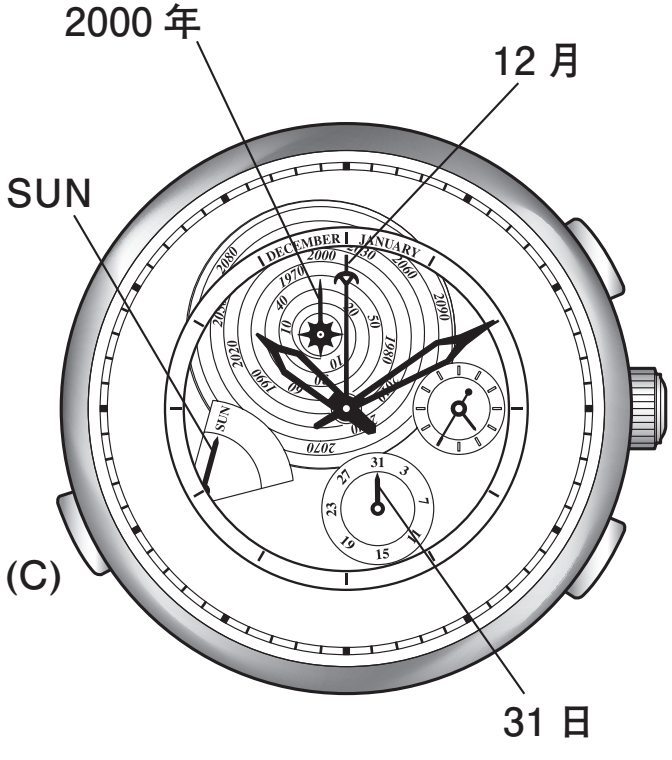
年針は図のように直線上にある年を示します。
現行のグレゴリオ暦では、4 で割り切れる年をうるう年としていますが、1900 年や 2100 年のように 100 で割った商が 4 で割り切れない年は、うるう年とせず平年としています。
この規則性から、1901 年～ 2099 年の間は 4 年に一度うるう年があり、毎年のカレンダーは 28 年周期でくり返します。
この時計の年表示の目盛も 28 年周期となっていますので、年針が示す延長上の年はすべて同一のカレンダーとなります。
（例：1916 年＝ 1944 年＝ 1972 年＝ 2000 年＝ 2028 年＝ 2056 年＝ 2084 年）

2084
2056
2028
2000 年
1972
1944
1916



4. ご使用になる前に（基準位置の確認）

ご使用になる前に、各針の基準位置が正しくセットされているかどうかを次の方法で確認してください。
この基準位置がずれていると、カレンダー機能が正しく作動しません。



基準位置の確認方法

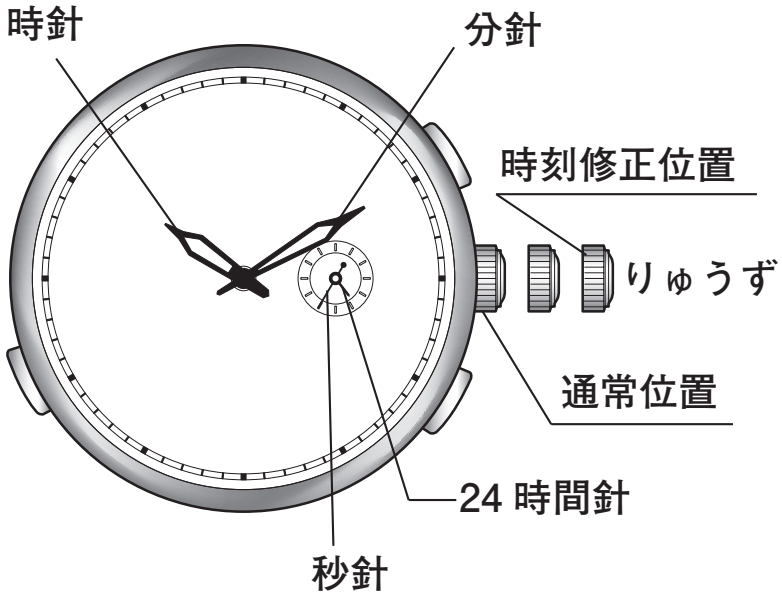
1) りゅうず通常位置で (C) ボタンを約 2 秒押すと、年、月、日、曜の各針が基準位置に早送りします。

2) 各針が基準位置（2000 年 12 月 31 日「SUN」）を示すことを確認します。

3) (C) ボタンを押すか、基準位置確認状態で約 30 秒経過すると、現在のカレンダー表示にもどります。

＊各針が基準位置にない場合は、**「9. 基準位置合わせ」**を参照して、各針の基準位置を正しく合わせ直してください。

5. 時刻の合わせ方



1) 秒針が 0 秒にきたときに、りゅうずを 2 段引き出します。
2) りゅうずを回して時刻を合わせます。24時間針の位置を確認して、午前と午後を正しく合わせてください。
3) 時報等に合わせて、りゅうずをきちんと通常位置に押し込みます。

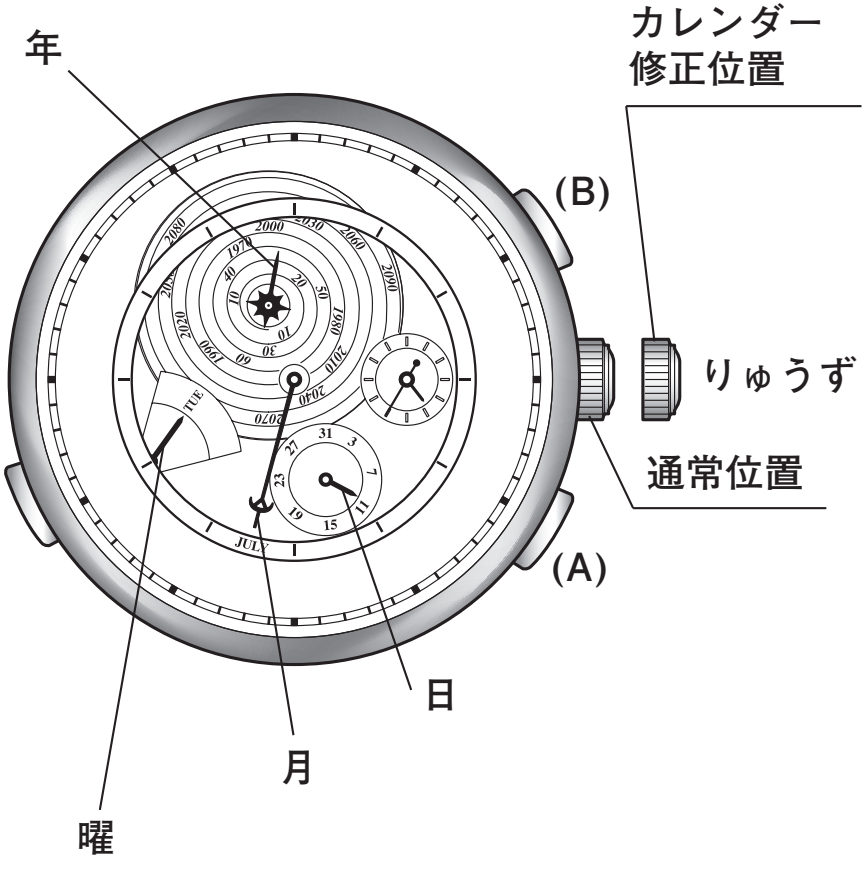
＊時刻合わせ中は、時刻とカレンダーは連動しないため、時刻合わせ中に 24 時間針が午前 0 時を超えてもカレンダーは切り替わりません。

時刻およびカレンダー合わせ時のご注意

時刻およびカレンダーを合わせる際は､午後 9 時頃～午前 1 時頃の時間帯を避けてください。

この時間帯に時刻合わせやカレンダー合わせ（りゅうずを引き出す操作）を行うと、カレンダー送りのための信号がキャンセルされてしまい、翌日になっても正しくカレンダーが切り替わらないことがあります。

6. カレンダーの合わせ方



1) りゅうずを 1 段引き出します。

2) (B) ボタンを押して年を修正します。
(B) ボタンを押す毎に年針が 1 年ずつ進み、ボタンを押し続けると早送りします。

3) (A) ボタンを押して月、日を修正します。
（月針は日針と連動しています）
(A) ボタンを押す毎に日針が 1 日ずつ進み、ボタンを押し続けると早送りします。

4) りゅうずをきちんと通常位置に押し込みます。

＊曜は年、月、日の修正によって自動的に修正されます。
＊午後 9 時頃～午前 1 時頃の間にカレンダー修正を行わないでください。
この時間帯にカレンダー修正を行うと、翌日になってもカレンダーが切り替わらないことがあります。
＊カレンダーはパーペチュアルカレンダーです。一度合わせるとうるう年も含めて月末の修正は不要です。
＊カレンダーを実在しない日に合わせた場合は、りゅうずを押し込んだ後に、自動的に翌月の 1 日に修正されます。（例：2 月 30 日→ 3 月 1 日）
＊月末および月初めにおいて、月針の位置がずれて見える場合があります。この場合は、日針の位置によって当月か翌月（または前月）の判断をしてください。

7. カレンダーの呼び出し方

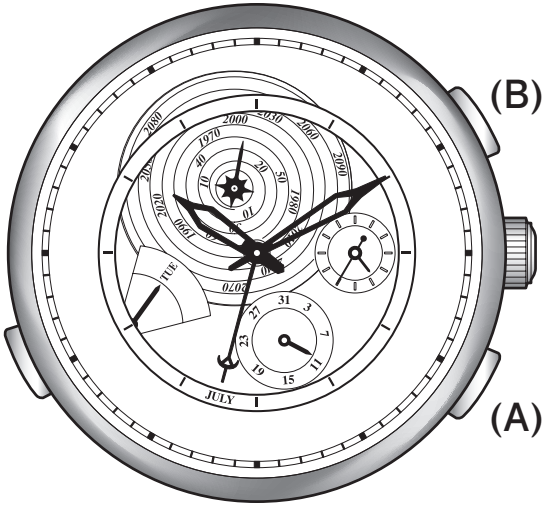
1900 年 3 月 1 日～ 2100 年 2 月 28 日の間で、過去・未来のカレンダーを呼び出すことができます。
このカレンダーを使用して、自分の生まれた日の曜日を調べたり、クリスマスや誕生日などが日曜日になる年を探したり … などの使い方ができます。

カレンダーの呼び出し

1) りゅうず通常位置で、(A) ボタンおよび (B) ボタンを押すごとに、カレンダー表示を過去方向または未来方向に 1 日ずつ送ることができます。(ボタンを押し続けると早送りします)

2) (C) ボタンを押すか、30 秒経過すると、自動的に現在のカレンダー表示にもどります。

＊カレンダー呼び出し中は、秒針が 2 秒運針 (2 秒に一度 2 目盛ずつ運針) して、カレンダー呼び出し中であることをお知らせします。



(C)

(B)：未来のカレンダー呼び出し (正転)

(A)：過去のカレンダー呼び出し (逆転)

8. このような場合には

年針が逆回転で早運針している

正しく基準位置合わせができていないため、「基準位置合わせ未完了警告機能」が働いています。
「9. 基準位置合わせ」を参照して、各針の基準位置を正しく合わせ直してください。

正しくカレンダー表示しない

時計に強い衝撃などが加えられると、針の基準位置がずれることがあります。
「9. 基準位置合わせ」を参照して、各針の基準位置を正しく合わせ直してください。

時計が異常な動作をしている

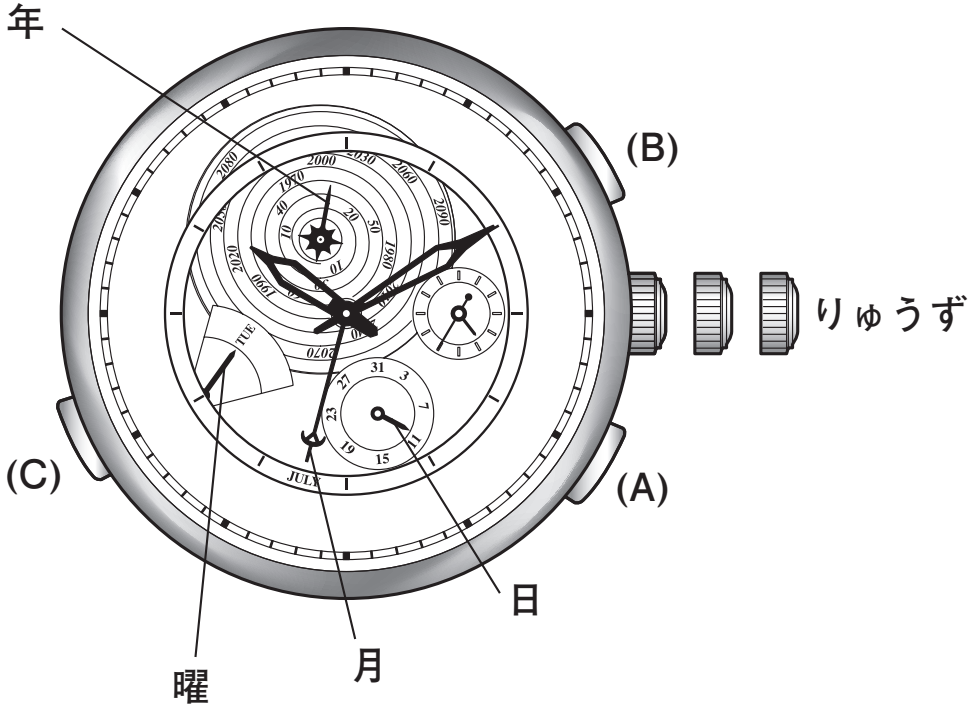
静電気の影響や強い衝撃を受けると、まれに異常な動作（針が回り続けるなど）をすることがあります。
このような場合は、「9. 基準位置合わせ」を参照して、各針の基準位置を正しく合わせ直してください。

電池交換した後は

電池交換後は、必ず「9. 基準位置合わせ」に従って、各針の基準位置を正しく合わせ直してください。
この操作を行わないと、時計は正しく作動しません。

9. 基準位置合わせ

基準位置合わせが正しくされていないと、時計は正しく作動しません。
基準位置がずれている場合は、次の手順で各針の基準位置合わせを直してください。
（電池交換後も同様にこの操作が必要です。）



1) りゅうずを２段引き出します。
2) (A)、(B)、(C) の３つのボタンを同時に押します。
年針、月針、日針、曜針が順番に動きます。

基準位置 =2000 年 12 月 31 日「SUN」

3) (B) ボタンを押して年針を「2000 年」に修正します。

4) (A) ボタンを押して月針と日針を「12 月 31 日」に修正します。（月針は日針と連動しています）

5) (C) ボタンを押して曜針を「SUN」の位置に修正します。

＊ (A) ボタンおよび (B) ボタンは、押し続けると早送りします。

基準位置合わせ未完了警告機能

手順 **1)**、**2)** の操作後、ボタン操作をしないでりゅうずを通常位置に押し込むと、年針が逆転で早運針して、正しく基準位置合わせが行われなかったことを警告します。この場合は、再度手順に従って、各針の基準位置合わせを行ってください。

10. 製品仕様

- **キャリバー No.**：670 *
- **型式**：アナログクオーツウオッチ
- **時間精度**：平均月差± 20 秒　常温（＋ 5℃～＋ 35℃）携帯時
- **作動温度範囲**：－ 10℃～＋ 60℃
- **表示機能**：
  - 時刻：時、分、秒、24 時間針
  - カレンダー：年、月、日、曜（パーペチュアルカレンダー）
- **付加機能**：
  - 過去、未来のカレンダー呼び出し機能
  - 基準位置合わせ未完了警告機能
- **使用電池**：銀電池 1 個
- **電池寿命**：約 3 年（1 日 15 年分のカレンダー呼び出しをした場合）

*上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

C・デュアルタイム

1. 商品の特長..... 50
2. 各部の名称..... 51
3. 時刻の合わせ方 52
4. ローカルタイム時差修正の仕方 54
5. 電池寿命切れ予告機能について 55
6. 製品仕様..... 56

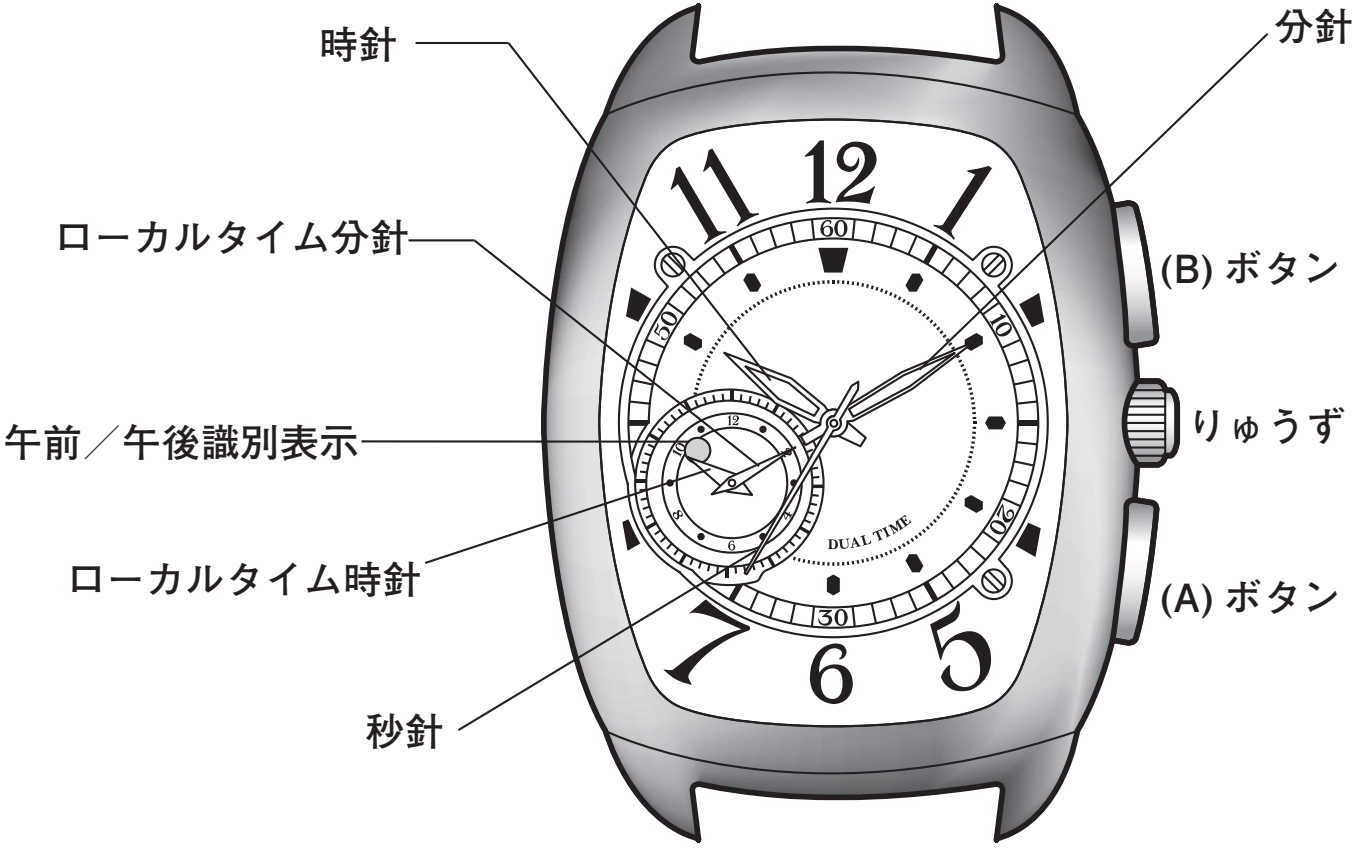
DUAL TIME

機種 No.776＊

1. 商品の特長

この時計は、通常の３針表示による時刻（ホームタイム）の他に、ローカルタイムを同時表示するデュアルタイム機能を搭載した、アナログクオーツウオッチです。
ローカルタイムは、時計を止めずに簡単なボタン操作で、１時間単位の時差修正が可能ですので、容易に他の都市時刻に修正することができます。

2. 各部の名称



＊お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

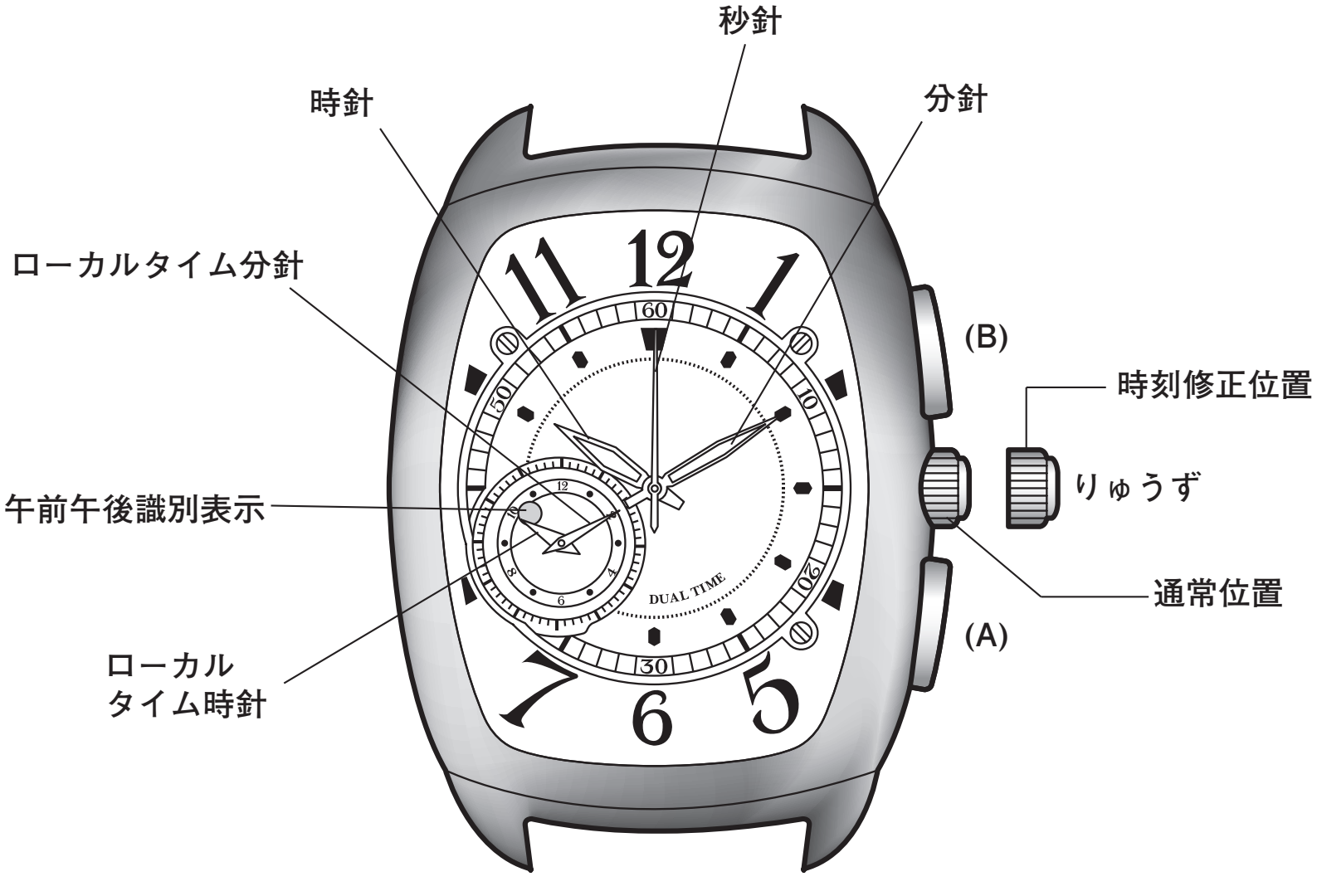
3. 時刻の合わせ方

ホームタイムとローカルタイムは連動します。
時刻合わせの際、ローカルタイムの分針は必ずホームタイムの分針と同じ時刻に合わせてください。

1) 秒針が 0 秒位置にきたときに、りゅうずを引き出します。
2) りゅうずを回して、ホームタイムの時針と分針を現在時刻に合わせます。
3) (A) ボタンまたは (B) ボタンを押して、ローカルタイムを合わせます。
ボタンを押す毎にローカルタイム時分針を 1 分ずつ送り、ボタンを押し続けると早送りできます。
・(A) ボタン：時計回り（正転）に修正できます。
・(B) ボタン：反時計回り（逆転）に修正できます。

注意 ローカルタイムを合わせる際は、午前午後識別表示を正しく合わせてください。
・午前午後識別表示：青（午前）／黄（午後）

4) 時報などに合わせて、りゅうずをきちんと通常位置まで押し込みます。

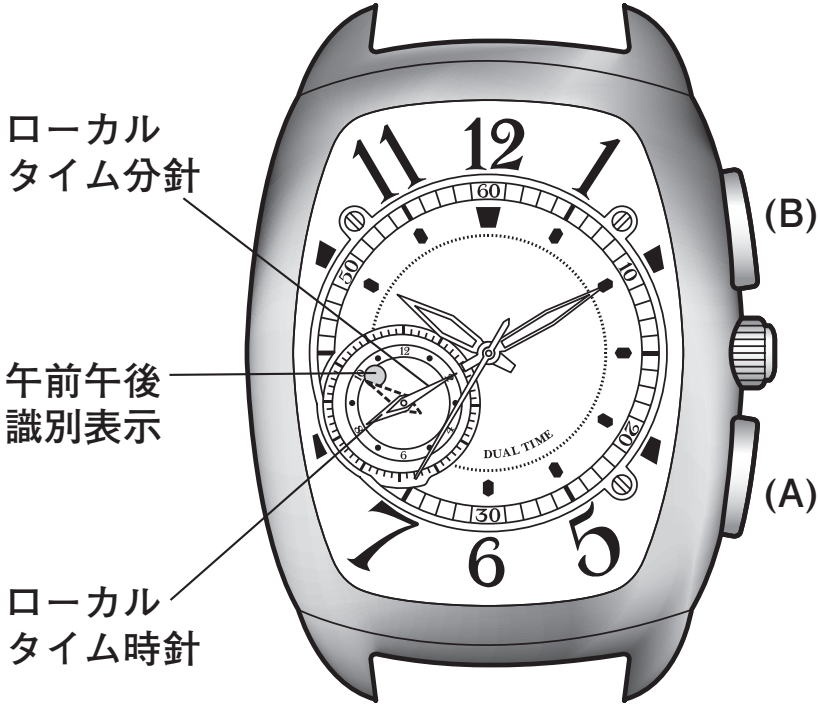

秒針
時針
分針
ローカルタイム分針
午前午後識別表示
ローカル
タイム時針
(B)
時刻修正位置
りゅうず
通常位置
(A)
DUAL TIME

4. ローカルタイム時差修正の仕方

りゅうずは通常位置のままで行います。
(A) ボタンまたは (B) ボタンを押す毎にローカルタイムを 1 時間単位で時差修正できます。
(ボタンを押し続けると針が連続で動きます。)

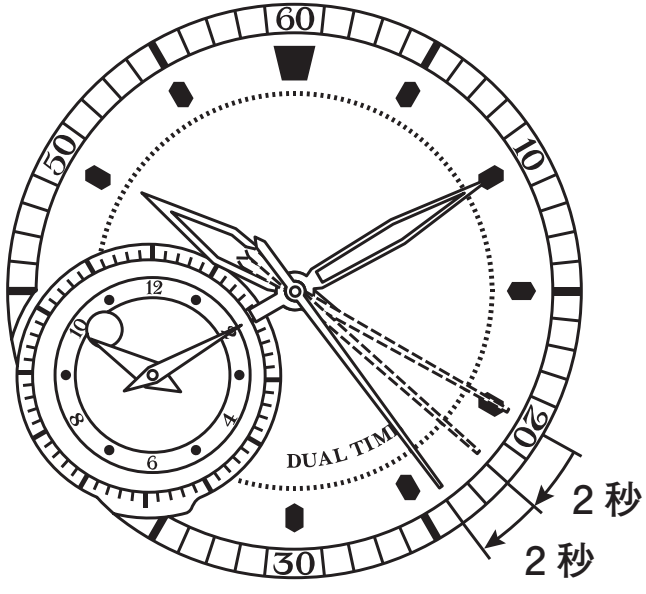
・(A) ボタン：時計回り（正転）に修正できます。
・(B) ボタン：反時計回り（逆転）に修正できます。

＊ボタンは針が動き出すまで確実に押してください。
＊時差修正の際は、午前と午後（午前午後識別表示の色）を正しく合わせてください。



5. 電池寿命切れ予告機能について

電池寿命が近づくと、秒針が 2 秒運針（2 秒毎に 2 目盛りずつ運針）に切り替わります。
このときも時計は正確に動いていますが、このような場合は早めに電池交換を依頼してください。



6. 製品仕様

・**機種**：776＊
・**型式**：アナログクオーツウオッチ
・**時間精度**：平均月差±15秒　常温（＋5℃～＋35℃）携帯時
・**作動温度範囲**：－10℃～＋60℃
・**表示機能**：時、分、秒、ローカルタイム（時、分、午前午後識別表示）
・**付加機能**：・デュアルタイム機能
　　・電池寿命切れ予告機能
・**使用電池**：280 － 39（SR626SW）
・**電池寿命**：約2年

＊上記仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

お取り扱いにあたって

⚠ 警告　電池の取り扱いについて

- 万一電池をはずした場合は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 電池は一般ゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町 村の指示に従ってください。

⚠ 注意　電池交換について

- 電池寿命切れの時計をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
  電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

⚠ 警告 防水性能について

- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。（1 bar は約 1 気圧に相当します）
- WATER RESIST (ANT) xx bar は W.R. xx bar と表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名　称	表　示 文字板または裏ぶた	仕　様
非防水時計	————	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3 気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5 気圧防水
	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10 気圧防水 20 気圧防水

・日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計（10 ／ 20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例				
水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
×	×	×	×	×
○	×	×	×	×
○	○	×	×	×
○	○	○	×	×

⚠注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

• 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
• 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

<バンドについて>

• 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
• 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
• 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
• バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
• ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

• 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
- 腐食により、バンドに異常が認められたとき
- バンドのピンが飛び出しているとき

• お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では 有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

• 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

• アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>
・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>
・クオーツ時計に使われているＩＣは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>
・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>
・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。
- 金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

・保証について

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証規定に従い、無料修理いたします。その際、カスタマーカード（カード式保証書）の提示が必要となります。なお、保証規定は日本国内のみでの適用となります。

・修理用部品の保有期間について

当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常 10 年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・ボタン・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

・修理可能期間について

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

・ご転居・ご贈答品の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

・定期点検（有償）について

・防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために２～３年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除（内装修理）について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として５年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

・電池について

お買い上げの時計に使用されている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。電池寿命が切れた場合は、保証期間内であっても電池交換は有料になります。

・修理について

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

・その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。